

3月13日 東京高裁が再審の可否を決定

今度こそ

# 誤った裁判のやり直しを

## 「袴田事件」高裁決定報告集会

とき

2023年3月14(火) 正午～

参加無料

ところ

参議院議員会館 B107 会議室

正面玄関ロビーで入館証を配布します

1966年の殺人放火事件の裁判で死刑判決を受け、冤罪死刑囚とされた袴田巖さん。半世紀が経ち、有罪判決の決め手となった証拠が警察の捏造だったことが判明しました。この誤った裁判をやり直すかどうか、3月13日午後2時に東京高裁が判断を示します。袴田さんを死刑判決のくびきから解放し、名誉と尊厳を回復するためには、再審無罪判決が必要です。決定について弁護団が報告します。ぜひご参加ください。

袴田事件弁護団制作「凍りついた魂」より  
おだやかな表情を見せる袴田巖さん

報告 袴田事件弁護団

訴え 袴田巖死刑囚救援議員連盟

布川事件 桜井昌司さん 東住吉事件 青木恵子さん

映画監督 周防正行さん

日弁連再審法改正実現本部本部長代行 鴨志田祐美さん

元法務大臣・死刑をなくそう市民会議運営委員長 平岡秀夫さん

袴田巖さんの姉 袴田秀子さん

ボクシング関係者 国会議員の皆さん 他

主催 袴田事件弁護団

袴田巖さんの再審無罪を求める実行委員会

袴田巖さんの再審無罪を求める実行委員会

連絡先

日本国民救援会 ☎03-5842-5842 瑞慶覧(ずけらん)  
アムネスティ・インターナショナル日本 info@amnesty.or.jp

アムネスティ・インターナショナル日本/日本国民救援会/日本プロボクシング協会袴田巖支援委員会/袴田巖さんの再審を求める会/袴田巖さんを救援する清水・静岡市民の会/袴田巖さんを救援する静岡県民の会/袴田さん支援クラブ/浜松・袴田巖さんを救う市民の会/無実の死刑囚・袴田巖さんを救う会

# 誤った裁判の呪縛から袴田さんを解放しよう



2014年3月、静岡地裁の村山浩昭裁判長は、弁護団のDNA鑑定やみそ漬け実験を採用し、警察による「5点の衣類」の証拠捏造を認め、再審開始と死刑及び拘置の執行停止を決定。袴田さんを釈放しました。袴田さんはいま、長年支えてきた姉の秀子さんと共に浜松で暮らしています。逮捕されて以降57年間の拘禁と恐怖によって袴田さんは精神的変調を来し、今もなお心を閉ざしたままです。「巖に効く薬は無罪判決しかない」と言う秀子さん。間もなく袴田巖さんは87歳、秀子さんは90歳。二人の人生を踏みにじった間違った裁判による冤罪を晴らす最後の機会です。

【袴田事件】1966年、強盗殺人・放火事件の犯人として袴田巖さんが疑われた。袴田さんは犯行を否定していたが、連日平均12時間を超える過酷な取り調べによって自白を強要された。裁判では一貫して無実を主張。しかし、事件から1年2カ月後に、みそ工場のタンクから血の付いた5点の衣類が「発見」され、血液型が袴田さんや被害者の血液型と一致したなどとして死刑判決となり、確定した。第2次再審請求で2014年、静岡地裁で再審開始と刑の執行停止が決定し、袴田さんは釈放された。即時抗告審で東京高裁は再審開始決定を取り消したが、2020年、最高裁が高裁決定を取り消し審理を差し戻し。差し戻された東京高裁では、味噌に1年2カ月漬けられた犯行着衣の色の変化のメカニズムを解明することが求められ、弁護団は実証実験で科学的に証明。検察が独自に実施した実験も弁護団の主張を裏付ける結果となった。

**YouTube 生配信**  
<http://kyuenkai.org/0314>



会場へのアクセス

永田町駅 2番出口

徒歩1分

東京メトロ **有楽町線** **半蔵門線** **南北線**

国会議事堂前駅 2番出口

徒歩9分

東京メトロ **丸の内線** **千代田線**



東京都千代田区永田町1丁目1-1 (衆議院のホームページより)